

袴田巖さんの今は 伊勢 映画上映始まる

撮影した際のエピソードを語る
金監督＝伊勢市曾祢の進富座で



死刑囚として三十四年間の獄中生活を送り、冤罪の疑いが強まったとして一昨年に釈放された袴田巖さん（ハ○）の釈放後の生活を記録した映画「袴田巖 夢の間の世の中」の上映が十六日、伊勢市曾祢の映画館「進富座」で始まった。二十九日まで。

初日は、金聖雄監督（五）が映画館を訪れ、観客にあいさつ。巖さんは当初は拘禁症の症状もあったが、「おいしいものを食べたり、将棋で勝ったりして徐々に笑顔を見せるようになった」と振り返り「権力に苦しめられながらも前に向かって生きる巖さんと姉の秀子さんの姿を多くの人に見てほしい」と語った。映画は、袴田さんが釈放された二カ月後の二〇一四年二月から一五年九月まで密着。浜松市にある秀子さんの自宅マンションで穏やかな生活を送りながら、日記を書いたり買

い物に出掛けたりする巖さんの日常の姿を見ることが出来る。

二月に全国の映画館で上映が始まり、県内では進富座が初めて。金監督のあいさつは十七日の上映後もある。

上映開始は二十一日までは午後二時、二十三日二十九日は午後零時十五分。進富座Ⅱ 0596(28) 2875

2016/4/17 中日新聞